



# 平成28年度 上総地区 地域ケア会議 報告書

平成29年1月17日（火）上総地域交流センターにて、

「ちょっとした手助け」「安否確認」について意見交換を行いました。

## 内容

平成28年11月に実施した、1回目の地域ケア会議では、上総地区の地域課題として「ちょっとした手助け」「安否確認」「移動手段」「買い物不便」という意見があがり、2回目で検討するテーマを「ちょっとした手助け」「安否確認」との2つに絞りました。

2回目に行われた地域ケア会議では、参加していただいた各団体で、できる事はないか、特に「自助・互助」の力を活かしてできる事を検討していただき、その結果を発表しました。

その後、上総地区としてこういった取組みを行っていくかの意見交換を行いました。

## ご意見

### ●ちょっとした手助けについて

- ・折木沢地区では独居高齢者が増加し、近隣との関係が重要となってくるため、今年1月に「ちょっとした手助け自治会宣言」を宣誓した。このような取組みを他へ広げられないか。
- ・隣近所や親戚での助け合いで、多額のお返しをしたり、それが手助けする人の重荷になることから、料金を決めた方がよいかもしれない。
- ・市で行った生活介護支援サポーター養成講座を受講した人を地域包括支援センターで把握し、支援ボランティアとしてまとめてもらえるといいのではないかな。
- ・認知症の方へは、知識を持った方がゴミ出しの声かけをしてはどうか。
- ・老人クラブ活動を続けたいが、運転出来なくなると身動きが取れなくなる。
- ・遠方の通院では、デマンドタクシーはエリア制限で利用出来ない。
- ・施設の空きスペースを地域住民に会議や交流会で活用してもらうことは、地域の手助けにもなり、施設のPRにもなり良いのではないかな。
- ・買い物支援では、今ある「まごころお届けサポート事業」を地区ごとに分けて見やすい形で利用しやすくまとめ直しても良いのではないかな。
- ・また、困りごと別に利用しやすい形で上総地区の社会資源を整理し、ケアマップなどとして「見える化」してはどうか。作成にあたっては、地域の方をメンバーに入れ、検討してはどうか。

## ご意見

### ●安否確認について

- ・介護支援専門員と民生委員との交流の場を設け、横のつながりを作って連携することで、ネットワークを形成出来ると良いのではないかと。
- ・民生委員は、あんしんカードに担当民生委員の連絡先を書いて渡しており、必要時に連絡出来るようにしている。
- ・市の「ひとり暮らし老人緊急通報システム設置事業」の普及を促進してはどうか。
- ・詐欺被害を防ぐためにも近隣の方の見守りや声かけ、出入りや回覧板などが必要ではないか。
- ・徘徊模擬訓練や認知症サポーター養成講座などを通じて地域住民の認知症の理解を深め、声かけしやすい地域作りができるとうい。
- ・災害時対応マニュアルがなく、災害時に誰が何をどうするかが分からない状況。災害時要援護者リスト等の情報共有も含め、市へ、市民にわかりやすいマニュアルの作成を求めていく必要があるのではないかと。

### ●その他について

- ・福祉有償運送は、他市では社会福祉協議会や施設が実施するケースもある。
- ・上総地区を久留里、松丘、亀山に分け、地域の助け合いについて話し合う「地域ケア会議」をしていくとういのではないかと。
- ・個別の人の対応については、関係者（本人、家族、民生委員、介護支援専門員等）を地域包括支援センターが集めて「個別地域ケア会議」を実施し検討していく。

## まとめ

- 「ちょっとした手助け」は、地域の中でできていることも多く、自治会でも、解決に向けて住民意識の啓発等に取り組んでいるところもある。一方で社会資源の「見える化」が十分できていないところもある。今後、地域資源マップ作成などの取組みが必要ではないかと。また、自治会等に協力を依頼し、困りごとの実態把握も必要ではないかと。
- 「安否確認」については、組織を超えた連携ができておらず、お互いに情報を共有する取組みが必要と考えられる。また、地域の中で意見交換の機会を持つていくことは必要である。

ご意見を参考にさせていただき、平成29年度の地域ケア会議を実施していきたいと思ひます。



君津市東部地域包括支援センター

Tel 0439-27-0710

君津市広岡 375 特別養護老人ホーム  
上総園敷地内

君津市地域包括支援室

Tel 0439-56-1732

君津市久保 2-13-1

君津市役所 高齢者支援課